

遺愛卒業の函館市議3人と現役遺愛生の トークがおおいに盛り上がりました!!

7月16日（土）14:00-16:00まで、遺愛会議室で『遺愛卒の女性議員と話そう』会が初めて開催されました。ファシリテーターをJALチーフキャビンアテンダントで今年1年間ふるさとアンバサダーである遺愛卒業生の木村正美さんが務めてくださいました。

遺愛生時代はソフトボール部のキャプテンそしてキャッチャーで保健師を経験し市議となった斎藤佐知子先輩、同じく遺愛時代はバレーボール部のセッター（当時エースアタッカーだったのが赤平ゆかり先生）で、看護師を経験し市議となった市戸ゆたか先輩、遺愛高校3年生の時は、合唱コンクール金賞、体育祭バレーボール優勝、遺愛祭お化け屋敷実現を目指して3つとも実現し、お茶の水女子大卒業後マーケティングリサーチ会社に勤め、13ヶ国に滞在経験をし、函館に戻り市議となった荒木明美先輩が自己紹介をし、会が始まりました。

遺愛生の出席は中1～高3まであわせて22名でした。

続いて、市議員さんの方からは、地方議会と国会との違いの説明、主権者教育についての短いビデオなどを見ながら、アプローチに仕方は違っても市民が暮らしやすい街を共に目指しているとお話がありました。

そして、遺愛生からの質問を受け付けたところ、積極的に手を挙げて質問してくれました。

- ①ボーニ森屋の跡地利用について、どのように考えているのでしょうか？
- ②函館が子ども・学生にとって住み続けたい場所にするにはどうしたらよいのでしょうか？
- ③高齢者の交通事故を減らすにはどうしたらよいのでしょうか？
- ④女性議員だから大変なことってありますか？
- ⑤プロジェクトを立ちあげるとしたら、今の課題は何でしょうか？

いずれもすぐに解決は難しい質問ですが、少しずつでも現状を変えるためにどのように現在取り組んでいるかを丁寧に説明してくださいました。

最後に、「政治は身近なことで、これから函館を担っていくのは皆さんです。」という熱いエールを送って下さいました。とても刺激的で素晴らしい会になりました。3人の市議さんと木村さん、どうも有難うございました。 2022年7月17日



市戸市議、斎藤市議、荒木市議、木村さん（JAL）と
記念写真（トーク終了後）